

『時事直言』 No.1497 2021年9月28日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

Q & A

「インターネット国際政経塾」(増田塾)の受講者に(講義は9月24日に終わったが)「必要な時はいつでも講義をする」と述べ、昨日27日も講義をしたが、受講者からメールで質問をいただいたので個別にお答したが、他の皆様にもお知らせしたほうがいいと思ったので本誌でもお答することにした。

<質問①>

「資金がNYから東京へ流入すると円資産が買われるので円高になり、ニッケイにはマイナス要因になると思われるのですが先生はニッケイは史上最高値(38,975円)に向かうと言われました。円高が続くのにニッケイが上り続けると言うのは何故ですか？」

<答え>

例えばトヨタ自動車の(3万以上の)部品の約75%は輸入品なので円高になると輸入コストが下がり、円高による輸出価格の上昇をカバーするだけでなくより競争力を高める。

「円高は日本の製造業にとってマイナス」という思い込みはやがて解消される。

<質問②>

「米中冷戦は何時まで続くのでしょうか？」

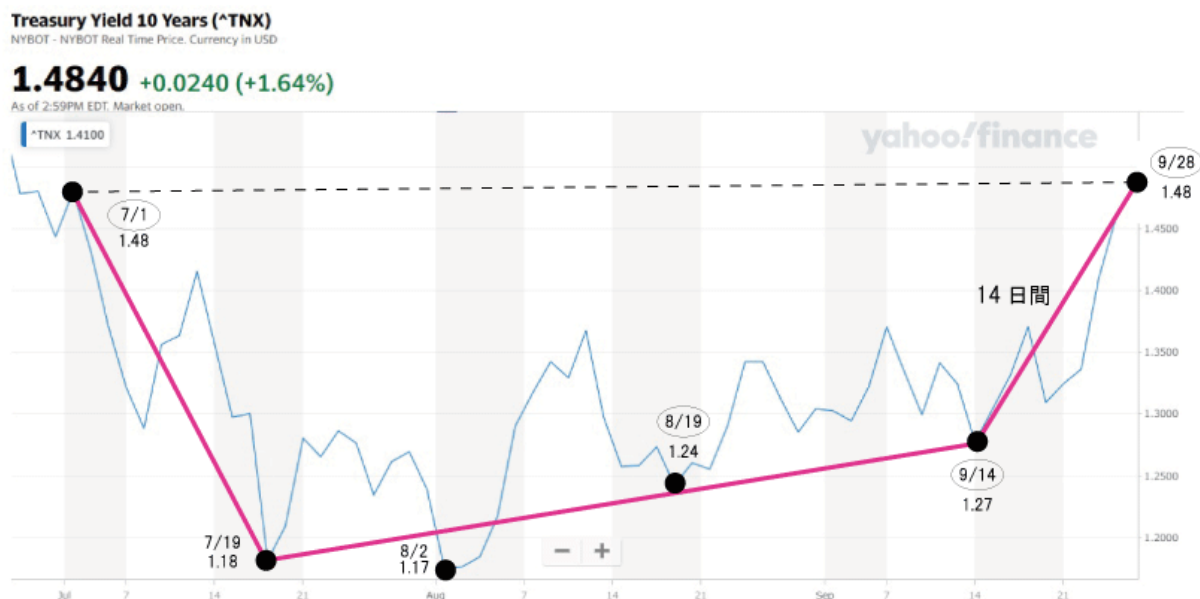
<答え>

最低10年続く。

冷戦は軍事産業の為にある—コロナ禍で傷んだ経済を元に戻す為に軍事産業と言う基幹産業を最低10年支える必要があるから。

<質問③>

図のようにインフレが加速していますが、FRBは何時何をしますか？」



<答え>

加速するインフレにストップするには緩和縮小、さらには引締めへ転じなくてはならないが、そうすると株式市場は暴落に陥るので緩和縮小は口先だけで実際には先送りしか出来ない。

先送りの間株価は最高値を追うが、本年 12 月 31 日が魔の金曜になるか、ニッケイ 38,975 円になるか「中国の捨て身の業」(わざ)にかかっている。

「中国の捨て身の業」については「小冊子」Vol.123 をご参照下さい。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法: Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

投資にビジネスに一番役に立つ「ここ一番」。

「明日では遅過ぎるナウな情報」をその場で必ずお送りします。

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。

詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel : 03-3956-8888、HP : www.chokugen.com まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。